Press Release

令和3年10月18日
配布：新潟県政記者クラブ
　　新潟市政記者クラブ
扱い：配布後解禁

国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所

国道7号（くりのき）栗ノ木バイパス笹越橋（ささごえばし）交差点付近
笹越橋　夜間通行止めのおしらせ

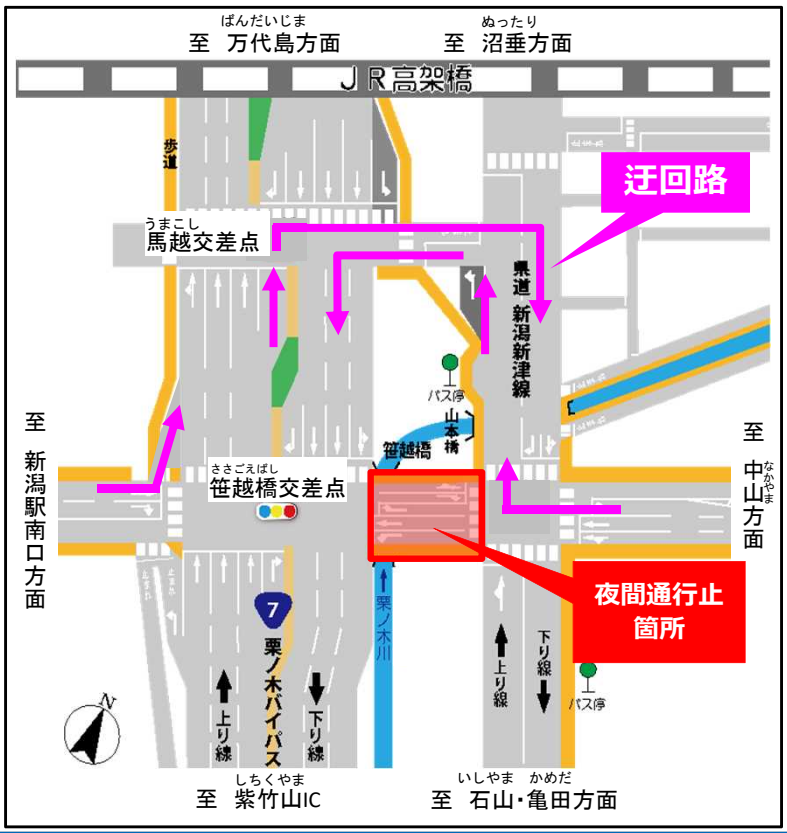
国道７号栗ノ木バイパスの立体道路整備に向けた栗ノ木川の付替工事に伴い、笹越橋の夜間通行止めを実施します。
皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【規制日時】10月25日(月)～11月30日(火) 夜22時～朝5時

※車両全面通行止め。(歩行者・自転車は通行可)
※車両は隣接する国道7号「馬越（うまこし）交差点」へ迂回をお願いします。
※昼間は通常通り通行できます。
※悪天候等により休工する場合があります。
※通行の際は現地の工事看板、交通誘導員の指示に従ってください。

【位置図】

国道7号　笹越橋交差点付近



お問い合わせ先

国土交通省　北陸地方整備局　新潟国道事務所
工務第一課長　　大島　淑（おおしま　はじめ）

新潟市中央区南笹口（みなみささぐち）2－1－65
電話　025－244－2159(代表)
https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/
FAX　025－246－7759

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

万代島ルートとは？

万代島ルートは、新潟バイパス紫竹山ICから中央区寄居町に至る全長約5.6kmの道路です。平成4年に都市計画決定され、高速道路や新潟バイパスといった東西方向を結ぶ道路と**新潟市中心部を南北方向に結びます。**柳都大橋を含む1.5km区間が先行して開通し、現在、国道7号栗ノ木バイパスで「栗ノ木道路」と「紫竹山道路」の整備を進めています。

■位置図

■万代島ルート計画における現在までの流れ

- 平成4年9月　都市計画決定告示
- 平成5年4月　万代橋下流橋事業化（柳都大橋区間）
- 平成 6年12月　地域高規格道路 計画路線決定
- 平成14年5月　柳都大橋（0.8km）開通
- 平成16年 7月　萬代橋が重要文化財に指定
- 平成17年4月　弁天ＩＣ開通
- 平成17年10月　新潟市が周辺13市町村と合併
- 平成18年 7月　新潟駅付近連続立体交差事業の事業化
- 平成19年 4月　新潟市が政令指定都市に移行
- 平成19年4月　栗ノ木道路事業化
- 平成20年3月　東堀通～萩川岸通（0.5km）開通
- 平成23年4月　紫竹山道路事業化
- 平成26年3月　西堀通～東堀通（0.2km）開通
- 平成30年 4月　新潟駅高架駅第一期開業
- 現　在

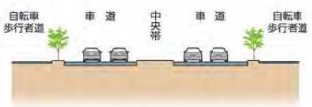
広小路（東堀通～西堀通）

柳都大橋

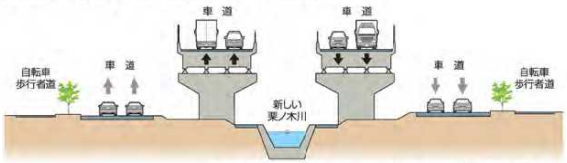
栗ノ木バイパス

■万代島ルート標準断面イメージ

【 平面道路区間 】 例：西堀通～萩川岸通区間



【 立体道路区間 】 例：笹越橋交差点～紫竹山交差点



※立体道路：新潟バイパスのような道路のことを指します。

どうして道路整備が必要なの？

万代島ルートの計画区間のうち、国道7号 栗ノ木バイパス（栗ノ木橋交差点～紫竹山IC間）は、様々な交通の課題を抱えています。そこで、「通過する交通」を立体道路へ、「地域に関係ある交通」を地表道路に整理し、交通の流れがスムーズで安全・安心な道路を目指します。

渋滞の発生

交通量が非常に多いため、朝夕を中心に著しい渋滞が発生しています。

新潟都市圏渋滞状況（直轄国道）

出典：旅行速度（H29 ETC2.0データ）
交通量（H27道路交通センサス）

※渋滞損失時間："渋滞のない場合の所要時間"と"実際の所要時間"の差を数値化したもの

栗ノ木バイパスの渋滞状況

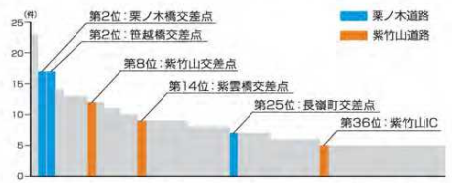
新潟市消防局ヒアリング（H29.2）

道路が整備されると…

立体道路はノンストップで交通の流れがスムーズになります！

事故の発生

主要な交差点で、混雑による追突事故等が多く発生しています。



新潟国道事務所管内（交差点）の死傷事故件数ワースト50の合計

出典：ITARDAデータ（H25～H28）

道路が整備されると…

混雑が緩和され、事故の少ない安全な道路になります！

冠水による通行止め

JR交差部では、豪雨時に冠水による通行止めが発生しています。

JR交差部の冠水状況（H10.8.4）

JR交差部冠水履歴

発生日	規制内容
H10.8.4	通行止め
H11.8.12	通行止め
H19.8.28	通行止め
H23.7.28	通行止め（上り線のみ）

出典：新潟国道事務所調べ

道路が整備されると…

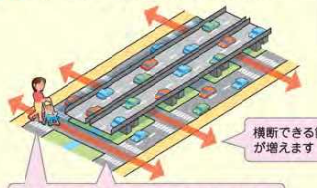
大雨でも通行止めのリスクが少ない安心な道路になります！

沿線地域が快適・安全に！

「立体道路」と「地表道路」に分離することで沿線地域にも様々な効果が期待されます。

■沿道と横断面のイメージ

■立体道路と地表道路区分イメージ



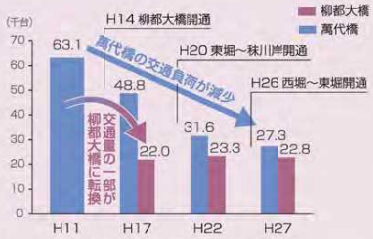
紫竹山道路地元説明会参加者意見より（H23.6）

新潟バイパスと古町が立体でつながる 万代島ルート

柳都大橋の開通による効果

新潟のシンボル『萬代橋』の交通負荷軽減

萬代橋は重要文化財であり、これからも守り続けていくべき存在です。
柳都大橋の開通により萬代橋の交通量が半減したことで、橋でのイベントが開催されるなど、市民交流や新潟のまちづくりに貢献しています。



萬代橋と柳都大橋の交通量の推移

出典：全国道路・街路交通情勢調査

新潟まつりの民謡流し

新潟シティマラソン

都市計画道路 万代島ルート線

区間：新潟市中央区紫竹山3丁目～同区寄居町（日本銀行前交差点） 平成4年に都市計画決定された約5.6kmの都市計画道路

平面道路区間 延長＝約1,220m

立体道路区間 延長＝約4,360m

凡例
- 万代島ルート線の都市計画決定区域
- オンランプ（入口）
- オフランプ（出口）
- 都市計画道路

※ランプは都市計画区域内に設置されます。

栗ノ木道路 延長＝約1.4km H19事業化

紫竹山道路 延長＝約0.7km H23事業化

柳都大橋区間 延長＝約1.5km

- H26.3 開通
- H20.3 開通
- H14.5 開通

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 令元情使、第241号）

事業の概要

路線名	起点・終点	延長	標準的な幅員	道路規格		
栗ノ木道路	新潟市中央区 沼垂東二丁目～鐙	1.4km	66.5m	両道路共通	本線（立体道路）	第3種第1級
紫竹山道路	新潟市中央区 鐙～紫竹山四丁目	0.7km	69.7m		地表道路	第4種第1級

立体道路区間の縦断図

※道路名は通称で表記しています。

どんな道路になるの？

栗ノ木道路

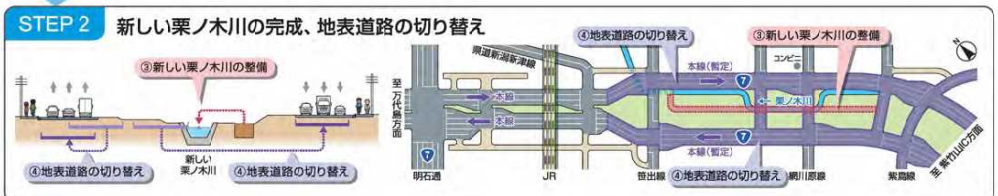
栗ノ木バイパスと栗ノ木川の周辺に立体道路、その両脇に地表道路を整備します。
栗ノ木バイパス周辺は非常に交通量が多いため、下図のようにできる限り車線数を確保し、道路の切り回しを行いながら工事を進めます。

※イメージであるため、実際の形状と異なることがあります。

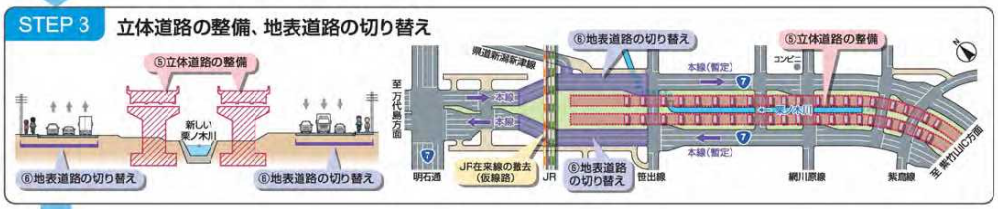
■工事の進め方

STEP 1　栗ノ木川の付け替え、地表道路の整備

STEP 2　新しい栗ノ木川の完成、地表道路の切り替え



STEP 3　立体道路の整備、地表道路の切り替え

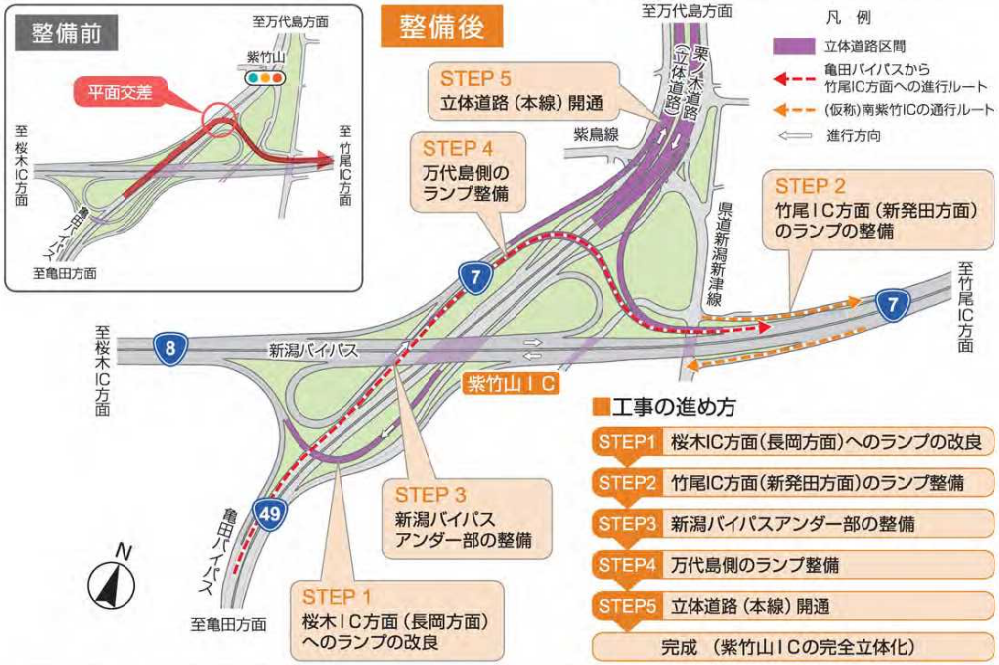


STEP 4　完成（通過交通は立体道路、生活交通は地表道路へ）

紫竹山道路

亀田バイパスから竹尾IC方面への右折ルートを立体化します。
また、地表道路と竹尾IC方面を結ぶ（仮称）南紫竹IC（ハーフIC）を新設します。
段階的な改良工事として少しずつ各ランプ（接続路）等の形状を変更しながら整備します。

※イメージであるため、実際の形状と異なることがあります。

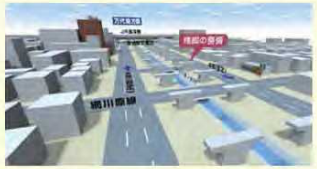


■工事の進め方

- STEP1　桜木IC方面（長岡方面）へのランプの改良
- STEP2　竹尾IC方面（新発田方面）のランプ整備
- STEP3　新潟バイパスアンダー部の整備
- STEP4　万代島側のランプ整備
- STEP5　立体道路（本線）開通
- 完成　（紫竹山ＩCの完全立体化）

工事ステップのイメージ動画　QR を読み取ると、工事ステップの 360° VRイメージ動画がご覧いただけます。

栗ノ木道路



紫竹山道路

※データ容量が大きいため、WiFi 環境でのご利用を推奨いたします。